

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|----------------|---------------------------|--|
| 家計 動向 関連 | 良くなる やや良くなる | 一般小売店〔衣料・雑貨〕（店長） | ・観光客数の増加に伴い、来客数が増加する。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・県及び民間企業による観光キャンペーン効果で低価格パックの個人フリープラン旅行者が増加しており、団体客よりも個人フリープラン客の方がレンタカーの利用などでコンビニを活用する割合が高いことから、今後も来客者の増加が期待される。 |
| | | 乗用車販売店（経営者） | ・会社関係、法人における販売増加は見込めないが、個人客に対しては新商品の効果がそのまま維持する。 |
| | | その他専門店〔書籍〕（店長） | ・ビジネスマンが購入する本は金融に関するものが多く、銀行の信用状況に対して慎重な様子がかえり、主婦層ではインテリア関連等の本が売れていることから全体的にゆとりが出てきたように感じられる。 |
| | | 都市型ホテル（支配人） 旅行代理店（経営者） | ・来客者数は対前年比で増加しているものの、客単価が例年並に回復するにはまだ時間がかかる。 ・米国テロによる全壊現象が改善してきており、国内旅行を中心に客の動きが良くなっている。 |
| | 変わらない | 百貨店（副店長） | ・賞上行動が慎重になっており、特に6時以降の客の滞留時間が短い。 |
| | | スーパー（経営者） | ・来客数の動きや販売量は横ばいであり、今後もこの状況が続く。 |
| | | スーパー（企画担当） | ・単価が上がる要因は見受けられないため、しばらくは低価格化や競合各社の競争が続き、売上も変わらない。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・不況は間違いなく底を打ったと感じるが、減税等国民一人あたりの実質収入等が増えなければ、景気は変わらない。 |
| | | 衣料品専門店（店員） | ・極端な変化は見られない。地場産業の発展と振興を目的としたオリジナルイベントの実施、またマンツーマン対応による親身な顧客サービスの提供により現状を維持する。 |
| | | 高級レストラン（副支配人） | ・これまでの観光客数の増加はコンベンションビューローや県、航空会社の取り組みによるものであり、沖縄県を観光目的とする本当の意味での観光客は減少している。また、個人旅行型観光客の増加により来客数が減少している。 |
| | | その他飲食〔居酒屋〕（経営者） | ・観光客の動きが活発になっているが、冬の避寒を目的に来県する高齢層から、卒業旅行や夏シーズンを目的とした若年層に客層が移行してきたため、飲食する客単価が下落している。 |
| | やや悪くなる | 家電量販店（副店長） | ・チラシ等の広告に対する客の反応が鈍くなっており、高額な商品の買い控えが続き、特売商品のみ購入するという状況が続く。 |
| | 悪くなる | 商店街（代表者） | ・街中では観光関連の来客者数は持ち直しているようだが、現時点での観光客は激安ツアーなどのためなかなか消費に結びつかない。大型店は多少の持ち直しもあるだろうが小売店に関してはなかなか対応ができておらず、今後とも厳しい状況に置かれる。多少持ち直している店と売れていない店との格差ができており、全体を平均すると今後も悪くなる。 |
| | | コンビニ（経営者） | ・銀行の融資状況が厳しくなっている。 |
| 企業 動向 関連 | 良くなる | | |
| | やや良くなる | 輸送業（総務担当） | ・クーラー等の販売増により物量も増加する。 |
| | 変わらない | 通信業（従業員） | ・今後は業務サポートを事業分野に取り入れることになり、新たな展開に期待するものの、楽観視は出来ない。 |
| | | 通信業（営業担当） | ・受注量増につながる具体的な案件が少ない。新規ユーザー獲得には時間がかかる。 |
| | やや悪くなる | | |
| 悪くなる | - | - | |
| 雇用 関連 | 良くなる | 職業安定所（職員） | ・求人数が増加しており、今後は改善する。 |
| | やや良くなる | 人材派遣会社（営業担当） | ・観光、情報通信関連業者からの受注が回復傾向にある。また、今年度に入り、緊急地域雇用対策が実施されている。 |
| | | 人材派遣会社（経営者） | ・景気が良くなる要因も悪くなる要因も見当たらない。求人数、周辺企業の様子もさほど変わらず、現状とほとんど変わらない。ただ、懸案事項として、企業からの単価の値下げ要求が続いているため、現状のままか、さらに値下げが続くかで状況も変わる。 |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----|----------|--------------------|--|
| | | 求人情報誌製作会社 (経営者) | ・デフレーション現象には慣れてきた感があるが売上減少等の状況に変わりはなく、今後も倒産は増えるため現状はかわらない。 |
| | やや悪くなる | - | - |
| | 悪くなる | - | - |